

現代ビジネス学部
ISOGAWA Shinya
PROFILE
職名
現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授
学歴
京都大学大学院文学研究科 考古学専攻博士後期課程2 年単位取得後退学（1979）
学位
文学修士（京都大学、1977）
所属学会
日本考古学会、考古学研究会、たたら研究会、日本考古学協会、日本鉱業史研究会、鑄造遺跡研究会
専門分野
鑄物生産の考古学的研究、歴史的都市京都の考古学的研究、文化財政策

## 五十川 伸矢

**いそがわ しんや**

**研究課題1●東アジアの鑄鉄鑄物生産の歴史（鍋釜、鑄型、鑄造技術）**

**研究課題2●東アジアの青銅鑄物の製作技術（梵鐘、鑄型、鑄造技術）**

**研究課題3●京都市における考古学的調査（発掘、歴史的都市、景観の変遷）**

**研究課題4●日本における文化財政策（文化財行政、博物館）**

**著書**

**業績**

**著書**

**論文**

**著書**

『中世都市と商人職人』／名著出版、1992年10月、共著。

『中世を考える 職人と芸能』／吉川弘文館、1994年12月、共著。

『中世の風景を読む』5／新人物往来社、1995年10月、共著。

『奥能登と時国家』研究編2／平凡社、2001年8月、共著。

『銅と鉄の生産の歴史』／雄山閣、2002年2月、共著。

『中世総合資料学の提唱 中世考古学の現状と課題』／新人物往来社、2003年3月、共著。

**著書**

**論文**

「古代瓦生産の復原」／『考古学メモワール1980』、学生社、1981年5月、単著。

「平安京・中世京都の葬地と墓制」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和55年度』、1981年9月、単著。

「平瓦の数量計測方法の分析」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和58年度』、1986年3月、単著。

「鴨東白河の鑄物工房—京都大学構内の鑄造に関する遺跡」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和60年度』、1988年3月、単著。

「中世前半の大型鑄鉄鑄物」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／1987年度』、1990年3月、単著。

「中世白河の鑄造工房」／『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅳ』、1991年3月、単著。

「土取りの歴史的変遷」／『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅳ』、1991年3月、単著。

「古代・中世の鑄鉄鑄物」／『国立歴史民俗博物館研究報告』第46号、1992年12月、単著。

「梵鐘の鑄造遺跡」／『考古学ジャーナル』372、1994年3月、単著。

「古代・中世の京都の墓」／『国立歴史民俗博物館研究報告』第68号、1996年3月、単著。

「古代から中世前半における鑄鉄鑄物生産」／『季刊考古学』57号、1996年11月、単著。

「中世の鍋釜—鑄鉄製煮炊用具の名称—」／『国立歴史民俗博物館研究報告』第71号、1997年3月、単著。

「鍋釜の生産と供給」 「発掘された鑄造遺跡」／『鑄物の技術史』、(社)日本鑄造工学会 鑄物の科学技術史研究部会、1997年3月、単著。

「鑄造遺跡からみた古代・中世の銅鑄物生産」／『季刊考古学』62号、1998年2月、単著。

「中国の銅鐘鑄造技術」／『あまのともしび—原口先生古稀記念集—』、原口正三先生 の古希を祝う集い事務局、2000年1月、単著。

「相州小田原山田家の鉄鍋作り」／『製鉄史論文集 たたら研究会創立40周年記念』、

たたら研究会、2000年10月、単著。

「中世前半の大型鑄物製作技術」／『中世諸職』、シンポジウム「中世諸職」実行委員会、2003年3月、単著。

「日本古代中世の鑄造技術—鑄造土坑から復原される鑄造技術—」 「日本中世鑄鉄鑄物伝世資料一覧(1)鍋釜」／ 文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究、中世考古学の総合的研究—学融合を目指した新領域創生—、新領域創生研究部門A01-2 日本における銅鉄の金属生産とその流通に関する研究 中間報告、2005年9月、単著。

「＜学史＞高井悌三郎先生」／『古代文化』57巻9号、2005年9月、単著。

「日本古代の梵鐘と中世の梵鐘」／『鑄造遺跡研究資料2006』、2006年9月、単著。

「江南の鑄鐘技術」／『日中梵鐘の鑄造技術と鑄造工人』、平成19年度文部科学省科学研究費補助金 特別研究 促進費、日本中世における銅鉄の金属生産とその流通に関する研究報告書、2008年3月、単著。

「韓半島と日本の鑄鉄羽釜」／『鑄造遺跡研究資料2008』、2008年9月、単著。

「日本小型鐘の製作技術」／『一山典還暦記念論集考古学と地域文化』、2009年6月、単著。

「みちのくの古鐘生産」／『兵たちの生活文化』(兵たちの時代Ⅱ) 高志書房、2010年5月、単著。

「中国鐘の鑄型分割」／『坪井良平先生卒寿記念論文集—埋文行政と研究のはざまで—』、2010年11月、単著。

**調査報告**

『広渡寺廃寺遺跡発掘調査報告』／兵庫県小野市教育委員会、1976年3月、共同。

『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』／京都大学埋蔵文化研究センター、1981年3月、共同。

『丹波三ツ塚遺跡Ⅲ』／兵庫県氷上郡市島町、1981年3月、共同。

「京都大学本部構内AT27区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究報／昭和55年度』、1981年9月、単独。

『丹波周山窯址』／京都大学文学部考古学研究室、1982年3月、共同。

『播磨千本屋廃寺跡』／兵庫県宍粟郡山崎町教育委員会、1982年3月、共同。

「京都大学教養部構内AP22区の梵鐘鑄造遺跡」／『京都府埋蔵文化財情報』5、1982年9月、単独。

「京都大学本部構内AX28区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和56年度』、1983年3月、単独。

「京都大学教養部構内AP22区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和57年度』、1984年3月、共同。

「京都大学医学部構内AN20区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和58年度』、1986年3月、単独。

「北白川町追分町遺跡の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和59年度』、1987年2月、共同。

『常陸国新治郡上代遺跡の研究Ⅱ』／甲陽史学会、1988年1月、共同。

「京都大学医学部構内AN18区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／昭和60年度』、1988年3月、共同。

「京都大学病院構内AJ18・AJ19区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／1986年度』、1989年3月、共同。

「京都大学本部構内AW27区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／1988年度』、1992年3月、共同。

「滋賀県龍王寺の梵鐘」／『塑像出土古代寺院の総合的研究』、京都大学文学部考古学研究室、1992年3月、単独。

「京都大学医学部構内AM17区の発掘調査」／『京都大学構内遺跡調査研究年報／1992年度』、1995年3月、共同。

「第Ⅱ部天神窯跡発掘調査報告」／『丹波三ツ塚遺跡Ⅳ』、兵庫県氷上郡市島町、2000年3月、共同。

「京都市山科区安祥寺の梵鐘」／『安祥寺の研究』Ⅱ、京都大学第一四研究会「王権とモニュメント」、2006年3月、単独。

『法琳寺跡発掘調査報告』／京都橋大学文学部、2007年3月、共同。

**国際学会発表**

「日本中世の鑄鉄鑄物鍋釜」／ウラジオ国際シンポジウム「国際シンポジウム中世北東アジアの動態研究—日本から『ひと・もの・わざ』を考える—」 科研費特定領域研究、ウラジボストーク、2005年6月、単独。

「鑄造遺跡からみた梵鐘鑄造技術」／第1回北京国際古鐘文化交流シンポジウム、北京、2005年9月、単独。